

臨床研究に関する公示

臨床研究へのご理解とご協力へのお願い

当センター開設以来、当科は近隣地域の皆様の循環器疾患診療に従事してまいりました。現在、年間手術件数は1000例近くに及び、毎年600件以上の心臓大血管手術を施行しております。これまで当科は、手術を受けられた患者様の健康状態・追加治療の有無などを検討するため、定期的に遠隔期の予後追跡調査を実施してきました。その結果は、当科ホームページで開示しておりますが、より安全で、かつ治療効果の高い手術を今後も実施していくためには、予後追跡調査のみならず、早期・遠隔期の治療成績を解析する臨床研究は欠かせません。

このたび、以下のような研究を目的として通常の診療を行った患者様の診療記録（外来・入院カルテ）を確認しますので、予め同意書を頂いていない患者様も含めて診療情報を研究に使用させていただきたいと考えています。ご自身の診療記録をこの研究目的に使用することに同意いただけない場合にも患者様には一切不利益はありませんので、遠慮なく申し付けてください。

【研究課題名】胸部大動脈ステントグラフト感染の診断・治療に関する多施設研究

【研究機関】

自治医科大学附属さいたま医療センター 心臓血管外科

【研究代表者】

心臓血管外科 学内准教授 木村直行

【研究の目的】

胸部大動脈瘤に対する胸部大動脈ステント移植術（TEVAR手術）は、従来の開胸操作で人工心肺使用を伴う大動脈瘤切除＋人工血管置換術に比べて低侵襲で、近年治療件数は飛躍的に増加しています。本手術法は、体力のない高齢者にも実施することが可能であるため、今後高齢化社会が進む我が国では、更なる治療件数の増加が予測されます。

TEVAR手術の稀な合併症として、移植したステントグラフト感染があります。本合併症は一旦発症すると重篤であり、現在のところ、各施設でも治療件数が少ないため、その臨床像に関しては十分に理解されていません。今回の研究では、当診療科を含めたTEVAR手術を積極的に行っている国内4施設（自治医科大学附属病院（川人宏次医師）・独協医科大学病院（堀貴行医師）・湘南鎌倉総合病院（荻野秀光医師））の共同研究として、TEVAR手術後に発症したステントグラフト感染症例の患者特徴やCT画像データを解析するとともに、その治療成績を明らかにすることを目的としています。

【研究方法】

対象となる方：2008年1月1日～2017年8月31日までに自治医科大学さいたま医療センター心臓血管外科に、胸部大動脈ステントグラフト感染の診断で、入院治療を受けられた患者様。使用する情報：カルテに記載されている年齢・性別・既往歴・喫煙の有無・家族歴・手術前後の血液データ・生理学検査データ・手術術式と内容・麻酔内容・手術後の治療経過・合併症発生の有無・手術前後の画像データ（CT・MRI・エコーなど）など

【個人情報の取り扱い】

データを解析する際には患者さんの氏名や住所などと全く関わりのない番号を付す「匿名化」を行いますので、本研究成果を学会、論文等で公表する際に個々の患者さんが特定されることはありません。

【研究対象者に研究への参加を拒否する権利を与える方法】

ご自身のデータを研究に使ってほしくないとお考えの場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

【研究に関するお問い合わせ先・相談窓口】

自治医科大学附属さいたま医療センター 総合医学第二講座 心臓血管外科

担当者：木村直行

〒330-0834 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

TEL：048-647-2111

【研究に関する苦情申し込み先】

自治医科大学さいたま医療センター総務課

〒330-0834 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

TEL：048-648-5225

臨床研究へのご理解とご協力へのお願い

当センター開設以来、当科は近隣地域の皆様の循環器疾患診療に従事してまいりました。現在、年間手術件数は1000例近くに及び、毎年600件以上の心臓大血管手術を施行しております。これまで当科は、手術を受けられた患者様の健康状態・追加治療の有無などを検討するため、定期的に遠隔期の予後追跡調査を実施してきました。その結果は、当科ホームページで開示しておりますが、より安全で、かつ治療効果の高い手術を今後も実施していくためには、予後追跡調査のみならず、早期・遠隔期の治療成績を解析する臨床研究は欠かせません。

このたび、以下のような研究を目的として通常の診療を行った患者様の診療記録（外来・入院カルテ）を確認しますので、予め同意書を頂いていない患者様も含めて診療情報を研究に使用させていただきたいと考えています。ご自身の診療記録をこの研究目的に使用することに同意いただけない場合にも患者様には一切不利益はありませんので、遠慮なく申し付けてください。

【研究課題名】

急性A型大動脈解離病変の形態的特徴とDダイマー値との関連性の検討

【研究機関】

自治医科大学附属さいたま医療センター 心臓血管外科

自治医科大学附属病院 情報センター

【研究代表者】

心臓血管外科学内准教授 木村直行

【研究の目的】

急性大動脈解離は重篤な循環器緊急疾患で、当科は上行大動脈に解離が波及するA型を中心に緊急手術治療を行っています。急性大動脈解離の確定診断は、超音波検査やCT検査などの画像検査で通常なされますが、血液検査所見でも、血液内部の血栓化と関連した「Dダイマー」という物質が発症直後から上昇します。

本研究は、自治医科大学附属病院情報センターとの共同研究で、急性大動脈解離におけるDダイマーの濃度と大動脈解離病変との関連性を解析することを目的にしています。

【研究方法】

対象となる方：2009年11月～2016年10月までに自治医科大学附属さいたま医療センター心臓血管外科で、急性A型大動脈解離の診断で手術治療を受けられた患者様です。

使用する情報：カルテに記載されている年齢・性別・既往歴・喫煙の有無・家族歴・手術前後の血液データ・生理学検査データ・手術術式と内容・麻酔内容・手術後の治療経過・合併症発生の有無・手術前後の画像データ（CT・MRI・エコーなど）など。

本研究では、予後を含む退院後の病状に関しての聞き取り調査を行う可能性があります。具体的には、以下の内容の質問をお伺いするため、研究担当者から電話がある場合があります。電話での聞き取り調査を行う期間は、2019年3月31日までです。聞き取り調査の目的は、「手術前のDダイマー値と手術後の健康状態に関連性があるか？」という点を調べることです。聞き取り調査で得られた情報から、遠隔生存率や再手術回避率を算出する予定です。

実際の電話連絡における質問内容は、以下の項目です。

①退院後の大動脈疾患の発生と追加治療の有無

②生存・死亡

③死亡の場合には、遠隔死亡原因と遠隔死亡日

この電話での質問調査への協力／参加は任意です。研究に協力しない場合も、何の不利益をうける心配はありません。研究参加（ご回答をいただく）の場合には、回答に際して口頭での同意をいただくこととなります。回答に同意されても、返答したくない項目がある場合には、返答しなくてもよいです。また、ご本人様の同意がなければ、調査した情報は使用いたしません。

該当される患者様におかれましては、質問事項にご回答いただけますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。尚、当院もしくは関係機関を装って、調査の名目で金銭の振込み等を要求する手口の詐欺行為も充分考えられますのでご注意ください。当方の調査では銀行口座などの金銭に関する情報の収集は一切行いません。また、当方から調査にかかわる費用を請求することはありません。

【研究の開示】

この研究について、さらに詳しい内容を知りたい場合には、他の患者様の個人情報保護やこの研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画・方法等について、問い合わせいただければ、閲覧頂くことができます。

【個人情報の取り扱い】

データを解析する際には患者さんの氏名や住所などと全く関わりのない番号を付す「匿名化」を行いますので、本研究成果を学会、論文等で公表する際に個々の患者さんが特定されることはありません。

【研究対象者に研究への参加を拒否する権利を与える方法】

ご自身のデータを研究に使ってほしくないとお考えの場合には、2019年3月31日までに下記相談窓口までご連絡ください。

【研究に関するお問い合わせ先】

自治医科大学附属さいたま医療センター 総合医学第二講座 心臓血管外科

担当者：木村直行

〒330-0834 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

TEL：048-647-2111

【研究に関する苦情申し込み先】

自治医科大学さいたま医療センター総務課

〒330-0834 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

TEL：048-648-5225

患者さんへの臨床研究のお知らせ

自治医科大学附属さいたま医療センター 心臓血管外科では、下記の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】

僧帽弁位弁置換術、弁形成術後の有効弁口面積と長期予後の関係

【研究責任者】

自治医科大学附属さいたま医療センター 心臓血管外科 助教 荒川 衛

【研究の対象となる方】

平成19年4月1日から平成29年3月31日の間に、当科で僧帽弁置換術の治療を行った患者さんです。

【研究の目的・方法】

患者さんの心臓超音波検査結果、血液検査結果等についての情報をカルテから収集し、有効弁口面積、手術後経過、予後などを検討します。

【研究に用いる試料・情報の種類】

心臓超音波検査の結果、血液検査結果、術後経過

【研究期間】

この研究の期間は、許可されてから平成32年3月31日までです。

【本研究に関する問い合わせ】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、心臓超音波検査の情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

お問い合わせ先

〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

自治医科大学附属さいたま医療センター

TEL048-647-2111

研究担当者：心臓血管外科科 (氏名) 荒川 衛

苦情の窓口

自治医科大学附属さいたま医療センター

総務課 TEL048-648-5225

臨床研究に関する公示

臨床研究へのご理解とご協力へのお願い

当センター開設以来、当科は近隣地域の皆様の循環器疾患診療に従事してまいりました。現在、年間手術件数は 1000 例近くに及び、毎年 600 件以上の心臓大血管手術を施行しております。これまで当科は、手術を受けられた患者様の健康状態・追加治療の有無などを検討するため、定期的に遠隔期の予後追跡調査を実施してきました。その結果は、当科ホームページで開示しておりますが、より安全で、かつ治療効果の高い手術を今後も実施していくためには、予後追跡調査のみならず、早期・遠隔期の治療成績を解析する臨床研究は欠かせません。

このたび、以下のような研究を目的として通常の診療を行った患者様の診療記録（外来・入院カルテ）を確認しますので、予め同意書を頂いていない患者様も含めて診療情報を研究に使用させていただきたいと考えています。ご自身の診療記録をこの研究目的に使用することに同意いただけない場合にも患者様には一切不利益はありませんので、遠慮なく申し付けてください。

【研究課題名】

大動脈弁置換術における狭小弁(19mm 生体弁および 17mm 機械弁)の臨床成績と血行動態の検討

【研究機関】

自治医科大学附属さいたま医療センター 心臓血管外科

【研究代表者】

心臓血管外科 講師 岡村 誉

【研究の目的】

大動脈弁置換術において体格に比べて小さい人工弁を使用すると左室への後負荷が残存して、長期的に生存率や血行動態的に悪影響を及ぼすと報告されています。しかし一般的に体格の小さい日本人において大きい人工弁での弁置換術が困難な場合があり、小さい人工弁を使用する頻度が高いとされます。現在、狭小人工弁(19mm 生体弁および 17mm 機械弁)による大動脈弁置換術の中期・長期成績は明らかになっていません。そこで当科では、診療情報を後方視的に観察することで、狭小人工弁による大動脈弁置換術の中・遠隔期治療成績を非狭小人工弁の成績と比較し、明らかにします。

【研究方法】

対象となる方：2000 年 1 月 1 日～2017 年 3 月 31 日までに自治医科大学さいたま医療センター心臓血管外科で大動脈弁置換術を行った患者様。

使用する情報：カルテに記載されている年齢・性別・既往歴・喫煙の有無・家族歴・手術前後の血液データ・生理学検査データ・手術術式と内容・麻酔内容・手術後の治療経過・合併症発生

の有無・手術前後の画像データ（CT・MRI・エコーなど）・退院後の追加治療・活動レベルなど

【研究期間】

この研究の期間は、2017年7月10日から2018年3月31日までです。

【個人情報の取り扱い】

データを解析する際には患者さんの氏名や住所などと全く関わりのない番号を付す「匿名化」を行いますので、本研究成果を学会、論文等で公表する際に個々の患者さんが特定されることはありません。

【研究対象者に研究への参加を拒否する権利を与える方法】

ご自身のデータを研究に使ってほしくないとお考えの場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

【研究に関するお問い合わせ先・相談窓口】

自治医科大学附属さいたま医療センター 総合医学第二講座 心臓血管外科

担当者：岡村 誉

〒330-0834 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

TEL：048-647-2111

【苦情の窓口】

自治医科大学附属さいたま医療センター総務課 TEL：048-648-5225

臨床研究に関する公示

臨床研究へのご理解とご協力へのお願い

当センター開設以来、当科は近隣地域の皆様の循環器疾患診療に従事してまいりました。現在、年間手術件数は1000例近くに及び、毎年600件以上の心臓大血管手術を施行しております。これまで当科は、手術を受けられた患者様の健康状態・追加治療の有無などを検討するため、定期的に遠隔期の予後追跡調査を実施してきました。その結果は、当科ホームページで開示しておりますが、より安全で、かつ治療効果の高い手術を今後も実施していくためには、予後追跡調査のみならず、早期・遠隔期の治療成績を解析する臨床研究は欠かせません。このたび、以下のような研究を目的として通常の診療を行った患者様の診療記録（外来・入院カルテ）を確認しますので、予め同意書を頂いていない患者様も含めて診療情報を研究に使用させていただきたいと考えています。ご自身の診療記録をこの研究目的に使用することに同意いただけない場合にも患者様には一切不利益はありませんので、遠慮なく申し付けてください。

【研究課題名】

心筋梗塞後左室自由壁破裂に対する止血剤を用いた圧迫止血の治療成績の検討

【研究機関】

自治医科大学附属さいたま医療センター 心臓血管外科

【研究代表者】

心臓血管外科 講師 岡村 誉

【研究の目的】

当科で治療対象となる循環器疾患は、心臓（虚血性心疾患・弁膜疾患・先天性心疾患など）、大血管（胸部大動脈・腹部大動脈）、末梢血管（動脈疾患・静脈疾患）と多岐に及びます。治療に関しては、それぞれの疾患と患者様の状態に応じて、多くの手術術式から、最適と思われる術式を選択しています。しかしながら、標準的な術式であっても、患者様の年齢、併存疾患、術後の合併症などにより、遠隔期治療成績（退院後の疾患再発・追加治療の有無など）は大きく影響を受けます。そこで、当科では、診療情報を後方視的に観察することで、各治療術式の遠隔期治療成績を明らかにするとともに、術後の予後に影響を及ぼす因子を同定することを目的にしています。また、比較対象として、手術治療を受けられなかった患者様の診療情報を調査する場合があります。

【研究方法】

対象となる方：1990年1月1日～2017年3月31日までに自治医科大学さいたま医療センター心臓血管外科で心筋梗塞後の左室自由壁破裂に対して手術を行った患者様。 使用する情報：カルテ

に記載されている年齢・性別・既往歴・喫煙の有無・家族歴・手術前後の血液データ・生理学検査データ・手術術式と内容・麻酔内容・手術後の治療経過・合併症発生の有無・手術前後の画像データ（CT・MRI・エコーなど）・退院後の追加治療・活動レベルなど

【個人情報の取り扱い】

データを解析するには患者さんの氏名や住所などと全く関わりのない番号を付す「匿名化」を行いますので、本研究成果を学会、論文等で公表する際に個々の患者さんが特定されることはありません。

【研究対象者に研究への参加を拒否する権利を与える方法】

ご自身のデータを研究に使ってほしくないとお考えの場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

【研究に関するお問い合わせ先・相談窓口】

自治医科大学附属さいたま医療センター 総合医学第二講座 心臓血管外科 担当者：岡村 誉 〒330-0834 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847 TEL：048-647-2111

【苦情の窓口】

自治医科大学附属さいたま医療センター総務課 TEL：048-648-5225

臨床研究に関する公示

臨床研究へのご理解とご協力へのお願い

当センター開設以来、当科は近隣地域の皆様の循環器疾患診療に従事してまいりました。現在、年間手術件数は 1000 例近くに及び、毎年 600 件以上の心臓大血管手術を施行しております。これまで当科は、手術を受けられた患者様の健康状態・追加治療の有無などを検討するため、定期的に遠隔期の予後追跡調査を実施してきました。その結果は、当科ホームページで開示しておりますが、より安全で、かつ治療効果の高い手術を今後も実施していくためには、予後追跡調査のみならず、早期・遠隔期の治療成績を解析する臨床研究は欠かせません。

このたび、以下のような研究を目的として通常の診療を行った患者様の診療記録（外来・入院カルテ）を確認しますので、予め同意書を頂いていない患者様も含めて診療情報を研究に使用させていただきたいと考えています。ご自身の診療記録をこの研究目的に使用することに同意いただけない場合にも患者様には一切不利益はありませんので、遠慮なく申し付けてください。

【研究課題名】 心臓弁膜症手術患者における術前腸腰筋量が遠隔予後に及ぼす影響の検討

【研究機関】 自治医科大学附属さいたま医療センター 心臓血管外科

【研究代表者】 心臓血管外科 講師 岡村 誉

【研究の目的】

当科で治療対象となる循環器疾患は、心臓（虚血性心疾患・弁膜疾患・先天性心疾患など）、大血管（胸部大動脈・腹部大動脈）、末梢血管（動脈疾患・静脈疾患）と多岐に及びます。治療に関しては、それぞれの疾患と患者様の状態に応じて、多くの手術術式から、最適と思われる術式を選択しています。しかしながら、標準的な術式であっても、患者様の年齢、併存疾患、術後の合併症などにより、遠隔期治療成績（退院後の疾患再発・追加治療の有無など）は大きく影響を受けます。そこで、当科では、診療情報を後方視的に観察することで、各治療術式の遠隔期治療成績を明らかにするとともに、術後の予後に影響を及ぼす因子を同定することを目的にしています。また、比較対象として、手術治療を受けられなかった患者様の診療情報を調査する場合があります。

【研究方法】

対象となる方：1990 年 1 月 1 日～2017 年 3 月 31 日までに自治医科大学さいたま医療センター心臓血管外科で心臓弁膜症手術治療を受けられた患者様。及び、心臓弁膜症手術治療は受けなかったが、保存的治療実施目的に入院された患者様。

使用する情報：カルテに記載されている年齢・性別・既往歴・喫煙の有無・家族歴・手術前後の血液データ・生理学検査データ・手術術式と内容・麻酔内容・手術後の治療経過・合併症発生の有無・手術前後の画像データ（CT・MRI・エコーなど）・退院後の追加治療・活動レ

ベルなど

【個人情報の取り扱い】

データを解析する際には患者さんの氏名や住所などと全く関わりのない番号を付す「匿名化」を行いますので、本研究成果を学会、論文等で公表する際に個々の患者さんが特定されることはありません。

【研究対象者に研究への参加を拒否する権利を与える方法】

ご自身のデータを研究に使ってほしくないとお考えの場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

【研究に関するお問い合わせ先・相談窓口】

自治医科大学附属さいたま医療センター 総合医学第二講座 心臓血管外科

担当者：岡村 誉 〒330-0834 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847 TEL：048-647-2111

【苦情の窓口】 自治医科大学附属さいたま医療センター総務課 TEL：048-648-5225

患者さんへの臨床研究のお知らせ

自治医科大学附属さいたま医療センター 心臓血管外科では、下記の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】

腎嚢胞を合併する腹部大動脈瘤手術症例の治療成績

【研究責任者】

自治医科大学附属さいたま医療センター心臓血管外科科 学内准教授 木村直行

【研究の対象となる方】

2008年1月1日から2015年5月31日の間に、当科で腹部大動脈瘤の治療（開腹での人工血管置換術もしくはステント内挿術）を行った患者さんです。

【研究の目的・方法】

胸部大動脈疾患は、動脈硬化因子に加え、先天的な発症因子の関与が報告されており、特に腎嚢胞を持つ方に多く発症すると報告されています。一方、腹部大動脈瘤は喫煙や高血圧などの動脈硬化因子により発症するご高齢の方に多い疾患ですが、胸部大動脈疾患と同様の遺伝的（体質的）な発症因子の関与も示唆されています。

しかしながら、本邦における腎嚢胞を合併する腹部大動脈瘤の臨床特徴と手術成績は、ほとんど解明されていません。本研究では、当科における腎嚢胞を合併する腹部大動脈瘤症例の治療成績を明らかにすることを目的としています。

本研究は慈恵医科大学腎臓内科（花岡講師の研究グループ）との共同研究です。

【研究に用いる試料・情報の種類】

使用する情報：カルテに記載されている年齢・性別・既往歴・喫煙の有無・家族歴・手術前後の血液データ・生理学検査データ・手術術式と内容・麻酔内容・手術後の治療経過・合併症発生の有無・手術前後の画像データ（CT・MRI・エコーなど）など

【外部への試料・情報の提供】

全症例が対象ではありませんが、一部の方の画像データ（CT画像データ）を、慈恵医科大学腎臓内科に郵送で送付する可能性があります。尚、画像データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。）

【研究組織】

1. 自治医科大学附属さいたま医療センター心臓血管外科
木村直行（学内准教授）・野中崇央（臨床助教）・中野光規（助教）
2. 慈恵医科大学腎臓内科 花岡一成（講師）

【研究期間】

この研究の期間は、平成 29 年 9 月 8 日から平成 31 年 3 月 31 日までです。

【本研究に関する問い合わせ】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

お問い合わせ先

〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

自治医科大学附属さいたま医療センター

TEL048-647-2111

研究担当者：心臓血管外科 木村直行

苦情の窓口

自治医科大学附属さいたま医療センター

総務課 TEL048-648-5225

臨床研究に関する公示

臨床研究へのご理解とご協力へのお願い

当センター開設以来、当科は近隣地域の皆様の循環器疾患診療に従事してまいりました。現在、年間手術件数は1000例近くに及び、毎年600件以上の心臓大血管手術を施行しております。これまで当科は、手術を受けられた患者様の健康状態・追加治療の有無などを検討するため、定期的に遠隔期の予後追跡調査を実施してきました。その結果は、当科ホームページで開示しておりますが、より安全で、かつ治療効果の高い手術を今後も実施していくためには、予後追跡調査のみならず、早期・遠隔期の治療成績を解析する臨床研究は欠かせません。

このたび、以下のような研究を目的として通常の診療を行った患者様の診療記録（外来・入院カルテ）を確認しますので、予め同意書を頂いていない患者様も含めて診療情報を研究に使用させていただきたいと考えています。ご自身の診療記録をこの研究目的に使用することに同意いただけない場合にも患者様には一切不利益はありませんので、遠慮なく申し付けてください。

【研究課題名】

心臓血管外科領域における数値流体力学を使用した血流解析

【研究機関】

自治医科大学附属さいたま医療センター 心臓血管外科

自治医科大学附属病院 心臓血管外科

【研究代表者】

心臓血管外科学内准教授 木村直行

【研究の目的】

大動脈二尖弁症例の上行大動脈拡大や、マルファン症候群における大動脈基部拡大、解離性大動脈瘤や真性胸部大動脈瘤などにおける血行力学的因子の計測と実際の構造変化との関連性についての予測を、CTやMRIの実際のデータに基づいて、専用解析ソフトを使用した計算により行います（数値流体力学）。本研究は、自治医科大学附属病院心臓血管外科との共同研究で、得られた画像情報は、埼玉大学機械工学部でコンピューターソフトによる解析を行います。

【研究方法】

対象となる方：2019年3月31日までに自治医科大学附属さいたま医療センター心臓血管外科で胸部大動脈疾患、及び大動脈二尖弁の診断で手術治療を受けられた患者様です。

使用する情報：カルテに記載されている年齢・性別・既往歴・喫煙の有無・家族歴・手術前後の血液データ・生理学検査データ・手術術式と内容・麻酔内容・手術後の治療経過・合併症発生の有無・手術前後の画像データ（CT・MRI・エコーなど）など。

【研究の開示】

この研究について、さらに詳しい内容を知りたい場合には、他の患者様の個人情報保護やこの研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画・方法等について、問い合わせただければ、閲覧頂くことができます。

【個人情報の取り扱い】

データを解析する際には患者さんの氏名や住所などと全く関わりのない番号を付す「匿名化」を行いますので、本研究成果を学会、論文等で公表する際に個々の患者さんが特定されることはありません。

【研究対象者に研究への参加を拒否する権利を与える方法】

ご自身のデータを研究に使ってほしくないとお考えの場合には、2019年3月31日までに下記相談窓口までご連絡ください。

【研究に関するお問い合わせ先】

自治医科大学附属さいたま医療センター 総合医学第二講座 心臓血管外科

担当者：木村直行

〒330-0834 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

TEL：048-647-2111

【研究に関する苦情申し込み先】

自治医科大学さいたま医療センター総務課

〒330-0834 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

TEL：048-648-5225